

「平成27年度のまとめ」 学校教育係 ～学校・園計画訪問より～

信頼される学校・園づくりのために

○一人一人の教育的ニーズに応じた取組



長野原町
＜就学児健診の様子＞

本年度は中之条町に吾妻特別支援学校が開校し、管内の特別支援教育に新たな時代を迎えることができました。その中で経営の重点として、主に「的確な実態把握に基づく支援の具体化」「職員間の共通理解による支援体制の充実」「吾妻特別支援学校等との連携の推進」の3点についてお願いしてきました。多くの学校・園において、事務所の専門相談員を活用し、時には吾妻特別支援学校の専門アドバイザーや外部専門機関とも連携して、特別な支援が必要な子どもたちの実態

を把握し、ニーズに応じた具体的な支援や指導に取り組んでいただきました。

組織的な取組としては、職員全体で個別のケース会議を行い、対応や指導方法について情報を共有する園や学校が見られました。今後も特別な支援を必要とする子どもたちの学習や行動の状態についての的確にとらえるよう努め、関係機関との連携の充実を図ってほしいと思います。

たくましく生きる力をはぐくむために

○確かな学力



高山小学校
＜実験を行っている様子＞

本年度の計画訪問においては、「めあてと振り返りのある授業の徹底」をお願いしてきました。参観させていただいた授業では、めあての提示だけではなく、この1時間に行うことを話し、子どもたちに見通しをもたせる授業が増えてきました。また、子どもの発言を整理して板書した後、振り返り活動として、ノートのまとめに「ヒントになった場面や考える際の留意点などを付け加えさせる活動」も見るようになりました。充実した学習が繰り返されるこのような授業では子どもたちが集中して話を聞き、意欲的に発言する様子も見られて

ています。

めあてを確実に提示することは、子どもたちに授業の見通しをもたせ、より主体的に取り組ませることにつながります。また、振り返りを確実に行うことにより、学んだことへの理解を深め、学びの充実感や有用感を味わわせ、次時への期待を高めることにつながります。今後も本時のねらいに沿っためあての提示と振り返りをお願いします。

○豊かな心

日々の教育活動の中で自己有用感がもてるよう、①子どもたちが主体的に活動できるようにすること、②個々のよさを自他共に認め合えるようにすることをお願いしてきました。

①については、訪問の際にも次のような話を伺うことができました。

「児童(生徒)会が中心となってあいさつ運動を始めたら、雰囲気是一段とよくなった。」
「もっとよいクラスにするための“学級力会議”が定着し、意欲的に動く子が多くなった。」



一方、子どもたちが一番長い時間を過ごす授業の中では、意欲的・主体的に活動している姿を見ることがやや少なかったように思います。前述の「確かな学力」で記述させていただいたことに加え、「間違うのは当たり前」、「(内容より)自分の考えを表現したことをたたえる」といった学級の雰囲気づくりを今後もお願いします。

②については、誰にどのようなよさがあるのか具体的に伝えるようにしていくことが大切です。あいさつ運動を行っている子どもたちに「おかげで私は気持ちよく過ごせること」、授業中に誤答した子に「自信がなくても発言する姿勢のよさ」等をその都度伝えていただきたいと思います。その先生の姿から子どもたちの間にも互いを認め合う心のつながりが生まれていきます。今後も、小さな変化を称賛し続け、全ての子どもたちが自己有用感をもてるように支援していただきたいと思います。

○健康な体



北軽井沢小学校
＜引き渡し訓練の様子＞

各学校・園では、登下校の安全確保のため、家庭や地域と連携した様々な取組を行っており、統合した学校では校区の広がりとともに、登下校における新たなルールづくりと見直しが行われています。今後も安全管理の充実を図るとともに、学校教育全体を通して総合的に安全対策を進めることで、子どもたち自身の危険予測能力の育成を図りましょう。

また、今年度より「子ども安心カード」が導入され、消防との連携を図っています。実際に「子ども安心カード」を利用した学校からは、速やかに救急隊に引き継ぐことができたとの事例が報告されています。緊急時対応については、今後も学校安全計画に職員研修を盛り込み、学校全体で共通理解を図るようお願いします。

学校施設・設備の安全点検は計画的、組織的に行われることが重要です。毎月の点検箇所を変え、複数の職員で安全確認をしたり、点検で気付いた点をホワイトボードに記録し、事後につなげる工夫をしたりしている学校もありました。安全点検によって不備が確認された場合は速やかに対応し、子どもたちの安全な環境の確保につなげましょう。

たくましく生きる力の基礎をはぐくむために

○幼稚園教育の充実



原町幼稚園
＜楽しく遊ぶ園児の様子＞

吾妻郡内では、園庭やその周辺の豊かな自然環境を活用したり、物的・人的な環境等を工夫したりしながら、子どもたちが遊び込めるように、多くの園が発達やねらいにふさわしい環境づくりに取り組み、カンファレンス等を通して改善に努めています。子どもたちが熱中したり、自由な発想をもったりできるような環境はとても大切です。自分が夢中になったことから多くのことを知る機会が与えられます。どの園にも、その時々の子どもの思いを受け止めて、励ましたり、一緒に考えたりしている先生がいました。幼児は自分自身を表現した

言葉や行動を受け止めてもらえる信頼感を深めるとともに、安定した情緒の下で自己を十分に発揮します。今後とも「聞いてもらえるってうれしい」「わかってくれるってうれしい」といった子どもの視点を大切にしながら、充実した保育に努めましょう。